

型 名	フードセーバー ㊞FM2000/FM2010		
電 源	100V 50/60Hz	原産国	中国
消費電力	120W	重 量	1.76kg
外形寸法	約 432.0mm x 155.5mm x 98.5mm		

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な点がありましたら、下記の当社フードセーバーカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった使用状態で故障した場合は、保証期間内に限り無料修理いたします。
 2. 保証期間内で次の場合には有料修理となります。
 - (a) 本書の提示がない場合
 - (b) お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書き変えられた場合。
 - (c) 使用上の誤り、または不当な修理・改造による故障および損傷。
 - (d) お引き渡し後の輸送・落下・水濡れ等による故障および損傷。
 - (e) 火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。
 - (f) 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。
 - (g) 故障の原因が本機以外にある場合。
 - (h) 付属品等の消耗品の交換。
 - (i) 車輪船船などに搭載されて生じた故障および損傷。
 - (j) 一般家庭用以外の用途（業務用など）で生じた故障および損傷。
 3. 取扱説明書に記載された「安全のご注意」を守られていない場合の故障。
 4. 直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理を行った場合の出張料等は、お客様の負担となります。
 5. 消耗品等は保証対象外となります。
 6. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
 6. 保証に関して不明の点がございましたら、当社フードサービス・カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
 7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 8. 本書は再発行しませんので大切に保管してください。

0120 2

0120-36-2040

受付時間 平日 10:00 ～ 18:00(祝日、年末年始を除く)

輸入元：コールマンジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-9-25 芝浦スクエアビル



- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要な時にご使用ください。





安全にお使いいただくために

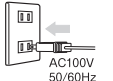
フードセーバー® をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになり、
注意事項・使用方法にしたがって安全に正しくご使用ください。
ケガや事故の原因になりますので、この取扱説明書に記載のない目的・方法では絶対に使用しないでください。

■絵表示について

表示内容を守らず、誤ったご使用をされたときに生じる危害や損害の程度を、下のような表示で区分して説明しています。
本文の内容をよく理解してから、ご使用ください。

⊘ ⊘ ⊘ ⊘ ⊘ ⊘ マーク は、してはいけない「禁止」の内容です。

⚠ ⊘ マーク は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 「人が死亡又は重傷等を負う可能性が想定される」内容	
  濡れ手 禁止 感電 注意	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 濡れた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、電源が入った状態の本体を触ったりしないでください。感電の恐れがあります。 
 禁止	交流100V以外の電圧で使用しない 本製品は交流100V以外での電源コンセントには使用しないでください。延長コードは使用しないでください。タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。 
 禁止	異常な状態では使用しない - お子様やペットのそばでは使用しないでください。 - 本製品または他の部品を落としたり破損した場合には、使用しないでください。 - 本製品を異常な状態で使用しないでください。煙がでたり、異臭がするなど、異常な状態で使用すると、火災・感電の原因になります。
  水濡れ 禁止 感電 注意	感電注意 水をかけたり、濡らしたりしない 火災・感電・ケガを防ぐため、本体、電源プラグ、電源コードを水等の液体に浸けないでください。
  分解 禁止 修理	自分で分解・修理しない - 自分で分解、改造、修理する事は絶対にしないでください。破損・故障・ケガ・事故の原因になります。 - 本製品、電源コード、プラグが破損しているとき、または正しく作動しないときは、巻末にご案内している連絡先に修理を依頼してください。
 禁止	記載のない目的、方法で使用しない この取扱説明書に記載のない目的、方法では絶対に使用しないでください。ケガや事故の原因になります。
  取扱 注意 高温 注意	専用のバッグ類に熱いものを入れる際は、やけどにご注意ください。

注意

「人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される」内容

  取扱 注意 プラグ 注意	電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない - 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。 - お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて冷ましてから行ってください。
 ほこりを取る	ほこりやゴミを取る 電源プラグに付いたほこりやゴミは取り除いてください。
 禁止	本体を逆さ、横倒しで使用しない - 使用時は本体を逆さにしたり、横倒しにしないでください。 - 使用中に移動させないでください。感電・ケガの原因になります
 禁止	水気、火気の近くに置かない - 台所の流し台、水気のある場所、油煙や湯気があたる場所、湿気やほこりの多い所では使用しないでください。 - 本体・付属品を火気の近くに置かないでください。火災の原因になります。
 取扱 注意	付属品の取扱い - 真空ジッパーバッグを電子レンジ（100℃まで）で使用する際は、ジッパーを開けてから加熱してください。また、油分の多い食品は、他の容器に移してから加熱してください。 - 真空ジッパーバッグを電子レンジ（100℃まで）で使用する際は、ハサミ等で切れ目を入れてから加熱してください。 - バッグを湯せんする際は、必ず弱火にし沸騰直前のお湯で調理してください。 - 専用のバッグ類およびボックスをオープンや直火にかけないでください。
 禁止	ゴムおよびスポンジ部分を研磨剤で拭かない ゴムおよびスポンジ部分を研磨剤などで拭かないでください。事故の原因になります。
  取扱 注意 高温 注意	電源コードの取り扱い注意 - 電源コードは、使用時に束ねないでください。 - 電源コードをテーブルやカウンターの端などに引っ掛けたり、ドアにはさんだり、ねじったり、もつれさせたりしないでください。破損・故障やケガの原因になります。 - 電源コードをコンロや暖房器具など高温になるものに近づけないでください。 - 電源コードの破損ややけどの原因になります。 - 電源コードを鋭利なものに触れさせないでください。

※この製品は有極プラグが設置されています（片側の幅が若干広いです）。安全対策として、有極プラグは一方の方向のみにコンセントに挿すようになっています。万が一コンセントに挿せない場合、反転させて再度、お試しください。

■ご使用上の注意

1. 真空保存は熱処理される缶詰の代わりとなる保存方法ではありません。真空保存することで鮮度を保ちますが、殺菌作用はありません。生鮮食品は、冷蔵庫・冷凍庫にて保存してください。
 2. 本製品は必ずフードセーバー®専用のバックロール、バッグ、ボックスと一緒にご使用ください。
 3. 空気を吸引中、少量の液体、食品または食べ物が吸引溝に吸い込まれる場合があります。毎回、使用後は必ずドリットレーを掃除してください。
 4. 食材の入れすぎにご注意ください。必ず、容器の縁から食材まで2センチ以上の空間があることを確認してください。真空ジッパーバッグをご使用の場合、バルブに水分が触れる前に、吸引を止めてください。
 5. バッグの中にとがった部分がある物をパックする際（パスタ、ナイフ、フォーク等）ペーパータオルなどのクッション材で一度包んでから吸引&密封してください。クッション材なしでは、バッグに穴が開く可能性があります。バッグの代わりに真空フレッシュボックスの使用をおすすめします。
 6. 野菜は、軽く湯通しするなど下処理をしてから真空保存してください。
- お客様の不注意による破損・故障・ケガ・事故・火災に対する責任は負いかねますので、ご了承ください。
 - 取扱説明書の使用ガイドライン、および指示が守られない場合は、当社は一切の責任を負いかねます。
 - 使用前に、製品が破損していないか点検してください。
 - 本製品はおもちゃではありません。お子様や監視・監督が必要な方による使用はおやめください。

■ご使用にあたって

- 本製品は、食品やその他の生活用品を真空保存するものです。
- 食品を保存するときは、空気の吸引をおこない、冷蔵庫や冷凍庫に保存してください。
 - 空気を抜いて密封しても、鮮度は少しずつ劣化します。早めの消費をお勧めします。
 - 本製品はあくまでも鮮度を保つものであり、殺菌作用はありません。保存には十分ご注意ください。
 - 業務用などで使用されている、強力な真空ポンプによる空気を抜き取る方法とは違います。完全な真空状態にはなりません。

■本製品の用途について

- 本製品は一般家庭で個人が使用するために製造された製品です。業務用としての使用は絶対にしないでください。

■保管と廃棄について

- 本製品は安全で乾燥した場所に保管し、次のような場所には保管しないでください。
 - ・極端に高温、低温、多湿になる場所
 - ・ほこりが多い場所
 - ・お子様の手の届く場所
 - ・野外、直射日光のあたる場所
 - ・油煙や湿気のある場所
- 保管の際は、グリース、油、泥、氷雪、未乾燥の塗料、または他の滑りやすいものから遠ざけてください。
- 保管の際は、清潔に保ち、有害物から遠ざけてください。
- 保管の際は、必ず平らで安定した場所に保管してください。
- 本製品を廃棄するときは、行政・自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

■保守と点検について

- 事故防止のため、当社が推奨、または販売している部品のみ使用してください。
- 故障、劣化、または火や化学物質で腐食した場合は、使用しないでください。

●お願い

- 使用方法を誤りますと、機器を傷めたり、故障の原因になります。
- ドリットレーは常にきれいな状態で使用してください。
 - 一般の容器や袋では空気の吸引はできません。密封のみの使用は可能です。吸引&密封する場合は、必ずフードセーバー®専用のバックロール、バッグ、ボックスを使用してください。

はじめに

フードセーバー® をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

フードセーバー® は、真空状態にして空気の侵入を防ぎ、食材や身の回りの物を酸化・腐食・湿気から守るためにご利用いただけます。一人暮らしの方からご家族まで、さまざまな方に幅広い用途でお使いいただけます。

www.foodsaverjapan.com

フードセーバーを使ったレシピや、様々な活用法、困った時に役立つ情報は上記の WEB サイトでご覧いただけます。

ご質問・ご使用時にお困りですか？
フードセーバーカスタマーサービスセンターへご連絡ください。

0120-36-2040

.....

安全に効率よくお使いいただけるよう、安全上の注意事項や使用方法を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

フードセーバーは一般家庭用です。業務用としてご使用いただく場合の一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

※保証書は本書巻末にあります。本書を紛失しないよう、いつでも手に取れる場所に保管してください。

.....

■もくじ

安全にお使いいただくために	1
使用上の注意	3
はじめに	4
フードセーバー® の特徴	5
各部の名称とはたらき	6-7
ご使用方法	8-9
バックロールで袋を作る	
空気の吸引&密封保存	
アクセサリーを利用して吸引保存	
吸引後、真空フレッシュボックスの開け方	
付属品 / 別売り	10
お手入れ・保管方法	11
こんなときには	12
保証書	15

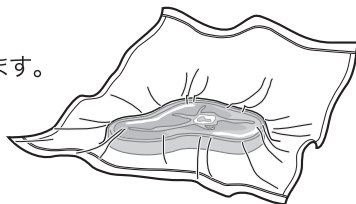
フーズセーバー®の特長

生鮮食料品は空気に触れると栄養価、色、香り、みずみずしさ、品質が劣化します。フーズセーバー®は専用バッグ/専用バックロールをつかって空気を抜き、密封バックすることで、食品の鮮度の低下や、酸化による品質の劣化を軽減します。

●鮮度・香り・成分を長く保つ

肉、魚介などを密封することで酸化による劣化を防止します。

- ・冷凍時の霜付き防止に
- ・冷蔵時の鮮度維持に
- ・もち、粉末類、茶葉、乾物の湿気・害虫防止に



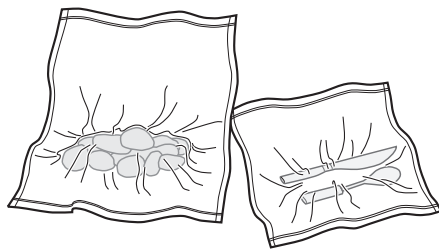
注意

- ・本製品は食品の鮮度や酸化による品質の劣化を軽減するものです。保存した食品の安全性を保証するものではありません。
- ・業務用の完全密封真空パック類とは能力が異なります。ご了承ください。

●お金・時間・労力をセーブ

料理をまとめて買い、賢く保存することでお金と時間を有効に使えます。

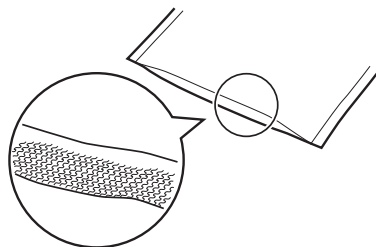
- ・料理の下ごしらえに
- ・できあがった料理の保存に
- ・茶葉・乾物の保存に
- ・余った食材の保存に
- ・アウトドアの移動時に
- ・汚れ・害虫防止に
- ・酸化による黒ずみ防止に（銀食器など）



●専用の袋で強力密封

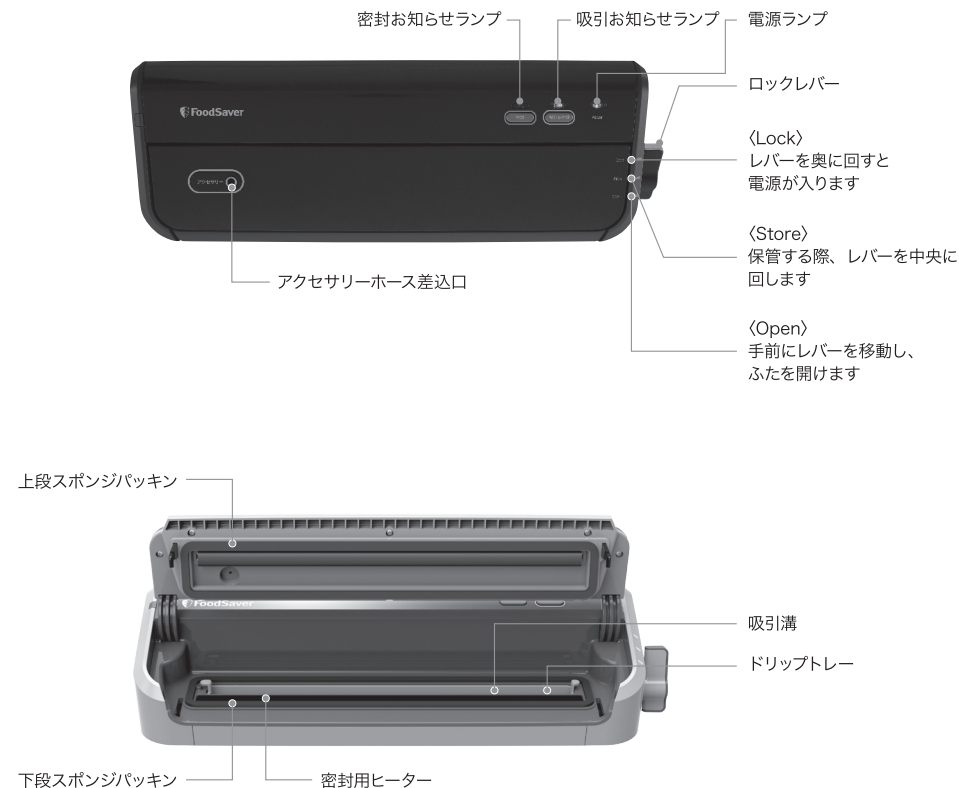
独自開発された専用の袋によって、強力な脱気力を実現しました。

- ・特殊な脱気溝造により、内容物の形状に関係なく空気の抜けがよくなり、密封度がアップします。
- ・外側のナイロン層は新鮮さを閉じ込め、空気と湿気をブロックします。



各部の名称とはたらき

FoodSaver® FM2000/FM2010 モデル





① 密封お知らせランプ

このランプは2つの用途があります：

- 密封中にランプが点灯します。
- エラーが生じている場合、ランプが急速点滅します。

② 吸引お知らせランプ

ランプが点灯している場合、吸引作業中です。作業完了後、消灯します。

③ 電源ランプ

ロックレバーを「Lock」に回すと、電源が入り、電源ランプが点灯します。

④ 密封ボタン

このボタンは3つの用途があります：

- 袋の端を密封する時。
- 吸引作業を直ちに止め、密封作業を開始したい場合。パンやクッキーなどデリケートな食材の潰れを防止します。
- 食べかけのスナック菓子袋を密封する時、湿気からまもります。

⑤ 吸引&密封ボタン

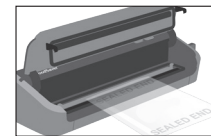
このボタンは2つの用途があります：

- 吸引&密封を開始する。
- 吸引作業を一時停止する。

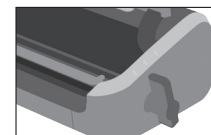
〈ご使用方法〉

1. パックロールを袋状（バッグ）にする方法

- 1) パックロールは長いロール状になっていますので、バックしたい食材の大きさに合わせてハサミでカットします。カットする長さは食材の大きさ（長さ）＋10センチが目安です。カットする際は、なるべくまっすぐ切ってください。
- 2) ロックレバーを「Open」位置に回します。本体のふたを開け、バックロールの片側を密封用ヒーターより奥にセットします。
- 3) ふたを閉じ、ロックレバーを「Lock」位置に回します。
- 4) 「密封ボタン」を押す。※密封中は「密封お知らせランプ」が点灯します。
- 5) 密封お知らせランプが消灯したら、密封完了です。ロックレバーを「Open」位置に回し、ふたを上げ、バッグを取り出します。



バッグを密封用ヒーターにのせる



ロックレバーを「操作」に回す



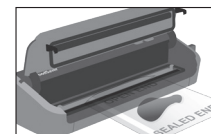
「密封ボタン」を押す

2. 空気を吸引・密封保存する方法

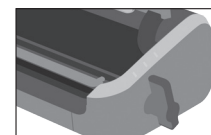
バッグに食材を入れる。

入れた食材から袋の入口まで、必ず10センチ以上の余裕が必要です。

- 1) ロックレバーを「Open」位置に回します。本体のふたを開け、バッグの開いている口の先端を本体の吸引溝の深い所に当ててください。
- 2) ふたを閉じ、ロックレバーを「Lock」位置に回します。
- 3) 「吸引&密封ボタン」を押す。モーターは完全に吸引されるまで作動し、完了後、自動的に密封します。
- 4) 密封お知らせランプが消灯したら、密封完了です。ロックレバーを「Open」位置に回し、ふたを上げ、バッグを取り出します。必要に応じて、冷蔵・冷凍保存してください。



バッグを吸引溝にセットする



ふたを閉じ、ロックレバーを回す



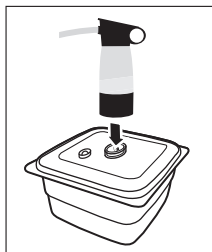
「吸引&密封ボタン」を押す

注意：続けてバックする場合は、最低20秒、本製品を休ませてから次のバックを行ってください。本体を保管する際、必ずロックレバーを中央の「Store」に回してください。

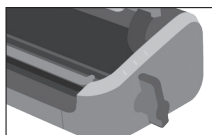
〈ご使用方法〉

3. 真空フレッシュボックスを利用して保存する

- 1) ハンディーシーラーの片側を本体のアクセサリホース差込口にしっかり差し込む。
- 2) ハンディーシーラーを真空フレッシュボックスのふた中央のバキュームバルブに差し込む。
- 3) 本体のふたを下ろし、ロックレバーを「Lock」に回し、「吸引&密封」ボタンを押す。
＊吸引中はハンディーシーラーをしっかりと手で押さえながら吸引してください。
- 4) モーター音が止まったら、ハンディーシーラーを外す。
優しくひねりながら、アクセサリホースをアクセサリと本体から取り外します。
- 5) フタを引っ張っても動かない状態であれば、しっかり真空されています。



ハンディーシーラーと
本体を接続する



ふたを下ろし、簡単ロックレバーを
「Lock」へ回す



「吸引&密封ボタン」を押す

4. 吸引後、真空フレッシュボックスの開け方

- 1) 真空フレッシュボックスの中央にあるバキュームバルブを強く押す。
＊空気が抜ける音が止まった後も数秒間押し続けてください。
- 2) ふたと容器本体を外す。

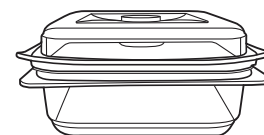
付属品



- ハンディーシーラー
真空フレッシュボックスを使用する際にアクセサリホース差込口に取り付けます。



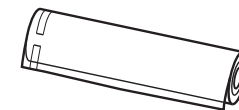
- ボトルストッパーを使用する際は、ハンディーシーラーの先端を外してください。



- 真空フレッシュボックス（サイズ3）
サラダや汁物の保存に使用します。

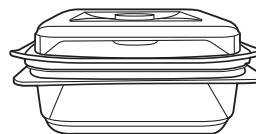


- ボトルストッパーワインやジュースの変質、酸化を防ぐことができます。



- バックロール(20cm×1、28cm×1)
パックするとき使用します。食品の大きさに合わせてカットして使用します。

アクセサリ（別売）



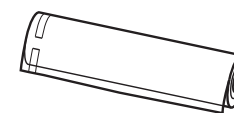
- 真空フレッシュボックス

【サイズ2】158 x 79 x 108mm
【サイズ3】158 x 158 x 80mm
【サイズ5】158 x 158 x 115mm
【サイズ8】158 x 158 x 166mm
【サイズ10】318 x 158 x 111mm



- ジッパーバッグ

【Sサイズ（18枚入り）】
200 x 220mm
【Lサイズ（12枚入り）】
275 x 270mm



- バックロール

【20cm】20 cm x 6.7m
【28cm】28 cm x 5.4m

本体のお手入れ方法

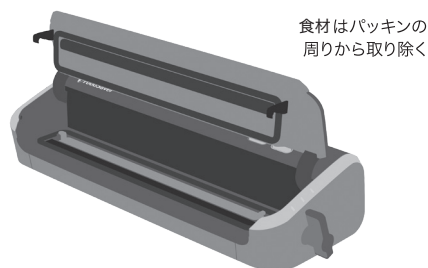
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。絶対に水や液体などに浸けないでください。

ゴムパッキンとドリフトレー付近に食材がないか確認ください。ゴムパッキンは水を含む硬く絞ったやわらかい布で、必要に応じて丁寧に拭き取ってください。上下のパッキンは取外し可能です。必要であれば、中性洗剤とぬるま湯で洗えます。

ドリフトレーは取外し可能なので、誤って少量の液体などが吸引時に吸い上がってしまっても、お掃除が簡単です。

本機を使用する度、必ずドリフトレーを掃除してください。

ドリフトレーは取り外して、中性洗剤とぬるま湯で洗ってください。

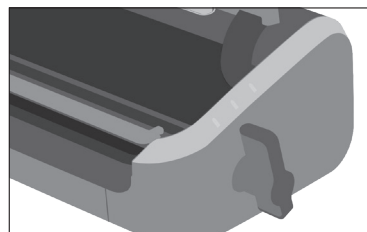


食材はパッキンの
周りから取り除く

本機の保管方法

保管する際は、ロックレバーを必ず中央の「Store」位置に回してください。

絶対に「Lock」に設定したまま、保管しないでください。
パッキンが押しつぶされます。



ロックレバーを中央の「Store」位置に回す

こんなときには

フードセーバー® 使用時のトラブル対処方法について説明します。

現象	対処方法
密封お知らせランプ(赤)が点滅している	・本機がオーバーヒートしています。続けて密封する際、必ず20秒以上間隔をおいて、冷却させてください。連続して使用すると、保護センサーが働き、操作を停止し、赤いランプが点滅します。冷却するまで本機を休ませてください。 ・密封と密封の間は必ず20秒以上間隔を開けてください。
吸引が止まらない	・バッグをロールから作成した場合、片側が閉じていることを確認してください。詳しくは P.8 「バックロールを袋状(バッグ)にする方法」をご確認ください。 ・バッグの位置を調節し、再度試してください。バッグの先端が吸引溝に入っているのを確認してください。 ・密封用ヒーターに沿ってバッグにシワがよっていないか確認してください。シワを防ぐためには吸引溝に差し込む際、バッグを軽く引っ張ってください。 ・本体のふたを開け、パッキンがしっかり設置されているのを確認し、異物、汚れなどが上下のパッキンにないことを確認してください。 ・アクセサリホースがアクセサリホース差込口に差し込まれていないかご確認ください。



こんなときには

フードセーバー® 使用時のトラブル対処方法について説明します。

現象	対処方法
バッグが密封しない	・液体が多すぎる。吸引する前に、冷凍してから再度吸引してください。 ・パッキンに食べカスなどあるか確認してください。食べカスなどある場合、パッキンを取外し、きれいに洗い、吸引溝に戻す（詳しくは「お手入れ方法」をご確認ください） ・バッグにシワが寄っていないかご確認ください。 シワを防ぐためにはバッグを軽く引っ張ってください。
コントロールパネルのライトが点灯しない	・電源コードをコンセントに差し込んでいますか？ ・コンセントに電源がきていますか？ ・ふたがしっかり下がっている事を確認して、ロックレバーが「Lock」の位置に入っている事を確認してください。
ロックレバーを回し、操作ボタンを押しても何も起きない	・電源コードをコンセントに差し込んでいますか？ ・コンセントに電源がきていますか？ ・ロックレバーを外し、ふたがしっかり下がっている事を確認してから再度「Lock」の位置にいらしてください。
バッグを本体に差しこめません	・バッグがドリップトレイの中央まで届くよう、十分バッグに余裕がありますか？必ず 10 センチほど余裕をもってバッグを切ってください。 ・優しくバッグを伸ばしながら差し込んでください。バッグの端がドリップトレイに差し込むようにしていらしてください。



こんなときには

フードセーバー® 使用時のトラブル対処方法について説明します。

現象	対処方法
空気を一度吸引したのですが、またバッグに空気が入ってしまいました。	・密封部分を再度確認してください。シワが寄っている場合、空気が侵入する可能性があります。密封部分にシワがよるのを防ぐには、吸引溝にバッグを差し込む際、軽くバッグを伸ばしながら差し込んでください。 ・食材からの水分などが密着部分に付着すると、うまく密封できない場合があります。 この場合、バッグを開け（ハサミで切る）、密着する部位（バッグ内側）の汚れ・水分をふき取り後、再度、吸引密封してください。 ・食材が発酵もしくは天然ガスが発生している可能性があります。 万が一、このような状況になりましたら、食材が腐食し始めた可能性がある為、処分してください。
バッグが溶けてしまう	・密封用ヒーターの温度が上がりすぎた可能性があります。 必ず 20 秒以上使用間隔をおいてから次の密封作業を行ってください。
それでもお困りの場合は	・カスタマーサービスにお問い合わせください：0120-36-2040 ・その他使用方法のヒントやよくある質問に対する答えは：www.foodsaverjapan.com をご覧になってください。